

公益財団法人かめのり財団
令和元(2019)年度 事業報告

平成 31(2019)年 4 月 1 日～令和 2(2020)年 3 月 31 日

令和元年度主要事業の実施状況と成果を報告する。

基本方針として、定款にうたわれる 3 つの柱

1. 高校生交換留学および大学院アジア留学生への奨学事業
2. 青少年の交流および言語教育支援を助成する国際交流事業
3. それらを推進するために、かめのり賞の顕彰、講演・シンポジウム等
その基盤支援事業

を実施することにより、日本とアジア・オセアニア諸国との相互理解・国際理解の促進を図ることができた。

また「次なる 10 年の方針」を重視した事業内容と、若い世代が自ら育つ環境づくりのため、①アジア・オセアニア地域、特に中国、韓国、東南アジアを理解する日本の青少年の育成、②お互いの理念や目的を尊重し、協働できるパートナーとの事業展開を考慮に入れた事業の実施に取り組んだ。

1. 青少年留学支援事業

(1) 高校生交換留学支援

平成 31 年 3 月実施のかめのり同窓会に関する現状の情報整理を行った。

(2) 大学院留学生支援

以下の奨学生 8 名に月額 20 万円を支給した。

令和元 (2019) 年度 大学院留学アジア奨学生

楊 慧敏 (中国)	Ms. Yang HuiMin	ヨウケイミン	2017.4-2020.3	同志社大学 社会学研究科社会福祉学専攻
趙 沼振 (韓国)	Ms. Cho So Jin	チョソジン	2017.4-2020.3	東京外国語大学 総合国際学研究科国際社会専攻
白 瑞 (中国)	Ms. Bai Rui	ハクスイ	2017.4-2020.3	中央大学 法学研究科民事法専攻
郭 昊 (中国)	Mr. Guo Hao	カクコウ	2017.4-2019.3	立命館大学 文学研究科行動文化情報学専攻
Ms. Nguyen Thi Thu Thao (ベトナム)		グエンティトウタオ	2018.4-2021.3	早稲田大学 アジア太平洋研究科 国際関係学国際関係学専攻

Ms. Nguyen Phuong Bao Chau (ベトナム)	クエンフオンハオ チャウ	2018. 4-2020. 3	一橋大学 商学部商学研究科専攻
Ms. Kuy Siemkiang (カンボジア)	クイシエンキアン	2018. 4-2021. 3	大阪大学 言語文化研究科 日本語・日本文学専攻言語文化研 究科
Ms. Chittarak Chanika (タイ)	チッターラータック チャニカー	2019. 4-2022. 3	お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻 国際日本学領域
Mr. Jariyanusorn Jet (タイ)	ジャリヤヌソ ジェット	2019. 4-2021. 3	埼玉大学 人文社会科学研究科 国際日本アジア専攻

大学院生へのサポートの一環として、令和元年9月9日～11日の3日間、研修交流会を北海道函館市で実施した。今年度は奨学生8名と卒業生1名が参加し、各自の研究テーマの発表と意見交換、OBによるミニ講義や論文指導、また現在抱えている課題等を共有することによって、奨学生の状況を把握し、学生同士の親睦を深めるよい機会になった。

また、令和2年度採用の「大学院留学アジア奨学生」の募集・選考を行った。指定校24校のうち12校から候補生の推薦があり、令和2年3月4日に選考試験（面接）を実施し、奨学生選考委員会により以下の3名を奨学生として決定した。

苗 静茹 (中国)	Ms. MIAO JINGRU	ミョウ セイ ジュ	2020. 4-2022. 3	東京大学 法学政治学研究科 総合法政専攻
宜 鯤 (中国)	Mr. YI KUN	ギ コン	2020. 4-2023. 3	京都大学 経済学研究科
孫 心悅 (中国)	Ms. SUN XINYUE	ソン シン エツ	2020. 4-2023. 3	同志社大学 社会学研究科社会福祉学専攻

2. 青少年交流および言語教育支援事業

(1) 青少年国際交流

① 第12期 高校生短期交流プログラム

(公財) YFU 日本国際交流財団により令和元年8月1日～8月24日の間、日本人高校生10名（関西地域6名、名古屋地区4名）を韓国に派遣した。参加生はソウルでのオリエンテーション後、韓国各地域でホストファミリーと生活しながら、現地の高校に通うという貴重な体験をし、韓国への文化理解と友好関係を深めた。

② 第6回高校生カンボジアスタディツアー

(公社)日本ユネスコ協会連盟との共催事業として、令和元年7月30日～8月6日、全国から選考された10名の高校生が、カンボジアのプノンペン、シェムリアップの2都市を訪問した。プノンペンでは在カンボジア日本国大使館、UNESCOプノンペン事務所、キリング・フィールド、ツールスレン博物館を訪れ、カンボジアの識字教育、遺跡保存を学び、歴史に触れると共に平和の尊さをあらためて共有した。シェムリアップでは当該団体が支援する寺子屋に訪問し、子どもたちとの交流を通じて、貧困村における教育、生活向上支援の現場について考えを深めた。帰国後、参加者たちがカンボジアの現状をそれぞれの地域で発表し、多様な経験から様々な刺激と気づきを受け、大変意義深いプログラムであった。

③ 第11回中学生交流プログラム

(公財)AFS日本協会により、令和元年11月2日～10日、東海、北陸地方から選考された中学生8名をインドへ派遣した。今回は「食文化」をテーマに、事前学習として日本紹介プレゼンテーションを準備し出発した。デリーでは、日本大使館訪問や世界遺産に訪問した。また到着後のオリエンテーションではインドの生活にかかわる情報を学び、スパイス等インドの食に関してホテルの料理長から説明を受け、インド料理を体験した。また、学校訪問ういホームステイで歓待を受けた。世界遺産であるタージ・マハル、アグラ城塞、フマユーン廟等、インドの歴史、文化、宗教を学んだ。学校訪問、フィールドトリップ、現地家庭へのホームステイを行い、インドの理解を深め、温かい交流を育む機会を得た。

④ 日本高校生訪中事業

(独)国際交流基金 日中交流センターとの共催事業として、日本人高校生14名および教員3名を選考し、令和2年3月に中国南京市および北京市を訪問予定であった。しかし、中国でのコロナウィルス感染拡大したため、本事業を中止とした。

⑤ かめのりスクール 2019

日本とアジアの中高生を対象に「かめのりスクール 2019」を実施した。アジア生のみ対象の「かめのりスクール@東京」(令和元年7月20日～25日)と「かめのりスクール@御殿場」(令和元年7月26日～30日)の2部構成で行った。「かめのりスクール@東京」はアジア6か国(インドネシア、タイ、中国、韓国、フィリピン、ベトナム)より招聘した日本語を学ぶ高校生12人が「日本のナマの新旧の文化を知る6日間のプログラム」に参加した。また、「かめのりスクール@御殿場」はアジア生と日本人中高生計30人が青少年センター東山荘(御殿場市)で、グループに分かれ国連の持続可能な開発目標(SDGs)のメッセージを伝えるというタスクをまとめ、発表した。異文化理解を促すプログラムを通じていくつかのグループワークによりコミュニケーションの難しさを乗り越えながら、活動を通して中高生が交流し、友好と相互理解を深めた。

⑥ かめのり中高生アンバサダープログラム 2020

令和2年1月25日～2月2日の9日間、フィリピンのマニラ市およびケソン市へ日本全国から12人の中高生を「かめのりアンバサダー」としてフィリピンに派遣し、現地の高校生他いろいろな世代とコミュニケーションをとりながら、両国の文化や社会を考えるプログラムを実施した。生徒達はプログラムの3つの目標（コミュニケーション、協働、文化理解）に加え、それぞれの目標を立てその達成にも取り組んだ。市内観光、高校訪問、JICA訪問、NGO訪問、そして国際交流基金マニラ日本文化センターとの共催事業「にほんご人フォーラム2020（フィリピン）」に参加した。

後半の「にほんご人フォーラム2020（フィリピン）」では「ECO」をテーマに英語、日本語、フィリピン語が入り混じりながらフィリピンの高校生との共同活動を通じて、お互いを尊重し、言葉の壁を乗り越えそれぞれの国を知り合う良い機会となった。コミュニケーション能力を高め、異文化を理解しながら、友好と相互理解を深めた。

⑦ かめのりカレッジ 2020

今年度国内在住の大学生を対象に、アジアからの留学生6名、海外参加者2名を含めた20名の大学生を選考したが、コロナウィルス感染拡大防止のため、本事業を中止とした。

(2) 国際交流事業の一般公募助成

本事業も中長期計画での見直しの対象となっており、令和2年度の募集に向けて、一般公募助成の新たな枠組みを検討した。

(3) 海外日本語教育サポート事業

令和元年度は以下の事業を実施した。

① （独）国際交流基金との共催事業「にほんご人フォーラム2019」の実施

令和元年8月2日から、学習者と教師の研修プログラム「にほんご人フォーラム2019（ベトナム）」をベトナム・ダナンで実施し、教師が7日間、高校生が5日間参加した。タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、日本の6か国を対象に、高校生24名と中等教育機関の教師11名が、高校生セッション、教師セッションに分かれて活動した。教師たちは「はじまりの場所」をテーマとし、今まで実践してきた21世紀型スキルを育成する授業活動を紹介し新たな授業活動を考えた。高校生たちは「ふるさと」をテーマに多国籍グループで取り組みながら日本語劇を上演し、日本語を使って学び・交流し、にほんご人の先輩との交流、ホイアンでのフィールドワーク等ベトナムの文化も学ぶなど、友好と相互理解を深めた。

3. 国際交流および人材育成の講演・セミナー事業

(1) 異文化理解講演会

令和元年度に當作靖彦教授の講演会は以下のとおり実施した。

- ① 「破壊的イノベーションの時代を生きるための7つの能力」
福井県立武生東高等学校（令和元年6月21日、22日実施）参加者数：約250名
- ② 「破壊的イノベーションの時代を生きるための7つの能力」
福岡県立香椎高等学校
（令和2年2月22日実施）参加者数：約600名

(2) かめのりフォーラム 2020

「かめのりフォーラム2020」を令和2年1月10日に開催した。第1部では第13回かめのり賞の表彰式および2019年に実施したプログラム参加者および大学院奨学生の体験発表を行った。第2部では参加者・奨学生との交流会が開かれた。

(3) かめのりセッション 2020

かめのりフォーラムに参加したプログラム参加生および大学生奨学生を対象に、国立オリンピック記念青少年センターに宿泊し、令和2年1月11日に各プログラムの学びや帰国後の活動の振り返りを行うセミナーや大学生奨学生のパネルディスカッションを実施した。他のプログラムの参加者との交流やグループ活動での協働で、コミュニケーションの大切さやアジアへの理解を改めて考える機会となった。

4. 国際交流および人材育成に関する顕彰事業

第13回かめのり賞はかめのり大賞2部門（草の根部門、人材育成部門）、特別賞計3団体に顕彰した。将来を見据えた、地道な努力で心の絆を深め、相互理解に貢献している団体・個人の活動を評価した。正賞のトロフィーと副賞として100万円の活動奨励金を贈呈した。23の団体・個人の応募があった。

【かめのり大賞 人材育成部門】（敬称略）

特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお

【かめのり大賞 草の根部門】

特定非営利活動法人日本・バン格拉デシュ文化交流会

【かめのり特別賞】

特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会

5. その他

(1) 広報活動の強化

継続的にホームページの充実を図るとともに、当財団の活動を関係団体はじめ広く周知するために、事業活動を紹介するニュースレター「かめのりコミュニティ」を7月、11月、3月と年3回発行した。

(2) IT の整備

いままで奨学金を支給していた過去の奨学生に関して現状を把握して、かめのりコミュニティの特集号で紹介する以外に、継続的にかめのり財団との関係をつなげるべく、OB. OG のネットワークづくりのため立ち上げた FACEBOOK を含み、引き続き IT 環境の整備を行った。

以上